

中期目標・中期計画（期間 2025年4月～2030年3月）

急速にすすむ少子化と混迷を極める社会を前にして、その解決の担い手となる人材を送り出す大学の役割はますます高まる。貴重な若者であるからこそ、多様な学生を誰一人取り残すことなく、社会で一定の役割を果たせるように育てることが求められる。男女格差が根深く残る日本の社会で、確実な人材育成を目指すとするなら、そこに柔軟性、個性ある対応が可能な小規模女子大学の役割が存在するといえる。

京都ノートルダム女子大学は、「徳と知」の建学の精神と、行動指針としての「ミッション・コミットメント」に基づき、混沌とした社会を生き抜く知恵や見識と、社会に共生、協働の和を広げる人間性を養成する、少人数の女子教育に徹底して取り組む。同時に創設以来育んできた京都、北山の地域との関係性を重視し、研究成果の還元や学生の地域を拠点とする教育活動の充実、発展を目指す。そのために、創立70周年に向けた大学運営・管理体制の整備と戦略的な学生受け入れを促進する入試・広報を実践していく。

対話と実践による女性支援教育

- ①批判的、総合的思考力と人間性を養う経験学習の充実化
- ②教育の基軸とする「国際性」の新たな展開と深化
- ③初年次教育から卒業研究まで一貫した個別対応重視の教育体制の構築
- ④学修意欲を誘発し主体的な学びを保証する制度やカリキュラムの整備

人と文化に関わるエッセンシャル研究

- ①地域の諸課題に取り組む研究や地域特性を活かした研究を奨励、強化
- ②研究成果の地域への積極的な発信、還元
- ③開かれた研究拠点として、外部機関との連携や学会・研究会の誘致を強化

個別性、重層性ある学生支援

- ①合理的配慮の促進、日常化
- ②多拠点サポートによる学習支援のさらなる充実化
- ③正課授業外の社会的、文化的活動の奨励、支援

個性と意欲を尊重する 学生受け入れ

- ①大学ブランドの確立と浸透を目指す大学広報
- ②出願者の開拓、拡大を目指す入試・広報戦略
- ③高大接続教育への取り組み・発信の強化による学生募集の活性化
- ④シンプルで明快な入試への整理、再構

グローバルな社会連携・貢献

- ①カトリック精神に基づくグローバル・ミッションへの取り組み
- ②京都府、京都市、左京区、および京都の企業との連携活動の拡大、充実化
- ③「知の拠点」としてのリカレント教育と地域の聴講需要にそった公開講座の推進

持続性ある女性支援拠点を目指した大学管理・運営

- ①第4期認証評価受審に向けての内部質保証体制の検証と再整備
- ②本学理念に基づき、社会の要請に応える戦略的な教育研究組織の追求・改革
- ③学生募集の活性化による財務の立て直し
- ④国や自治体からの補助金や企業との連携による外部資金の獲得強化
- ⑤財政状況を踏まえた中長期的な施設の維持管理計画
- ⑥IT環境の最適化を図るシステム、機器の整備、管理